



公益財団法人

ソーシャルサービス協会だより

2018年
8月24日
事務局発行
No.25

下期予算の組み替えについて

全事業所に8月10日に下期予算の組み替え検討をお願いしました。職場で検討し9月18日提出をお願いします。

2018年度の必要利益は600万円の目標を掲げましたが、事業所から寄せられました予算集計結果は剰余321万円でした。この件に関して5月の部門部長会議では、第一四半期の結果をみて下期予算の見直しをすることを確認していました。第一四半期の結果は以下の通りです。

1. 第一四半期（4～6月）の損益結果

損益結果	2018年4月～6月まで				(千円)	
	実績	予算	前年実績	予算との差	前年実績との差	
旭川	-22	-2	-3	-20	-19	
青森	-98	-98	173	98	-173	
仙台	532	184	483	348	49	
多摩		132	-971	-132	971	
IT	-1,140	650	2,002	-1,790	-3,142	
ワーク		-298	3,733	298	-3,733	
京都	1,398	794	5,676	604	-4,278	
宮若	-111	44	113	-155	-224	
都城	489	413	-602	76	1,091	
福岡	-719	5	-610	-724	-109	
田川	-225	-50	-204	-175	-21	
本部	-508	188	-2,181	-696	1,673	
全体	-306	1,962	7,609	-2,268	-7,915	

8月27日現在で、月次損益の未入力の事業所が3事業所あります。未入力の事業所が予算通りの遂行とした場合、4～6月の第一四半期で-570千円の赤字となります。予算は1,962千円の黒字としていますから、予算に対して-2,532千円、前年対比-10,141千円と大幅な後退です。未入力事業所のワークセンターが予算を大きく超過達成していればと願わずにはおれません。このままでは、予算未達成どころか5期連続の赤字が危惧されます。全事業所で下期に向けての予算組み直しをして、なんとしても年度決算の連続赤字からの脱出を図らねばなりません。経常利益で黒字が必須の課題です。

2. 各事業所の年間剰余目標を引き上げる提案

損益目標	2018年4月～2019年3月まで				(千円)	
	現状	変更(案)	差	前年実績	前年実績との差	
旭川	9	10	1	-69	79	
青森	-393	-393	0	-1,775	1,382	
仙台	735	750	15	465	285	
多摩	527	530	3	-1,323	1,853	
IT	-249	1,000	1,249	4,080	-3,080	
ワーク	5,982	6,000	18	2,300	3,700	
京都	3,176	3,300	124	-15,195	18,495	
宮若	175	180	5	344	-164	
都城	1,651	1,660	9	-42	1,702	
福岡	12	20	8	-2,243	2,263	
田川	68	70	2	-515	585	
本部	-8,465	-6,000	2,465	-6,032	32	
全体	3,228	7,127	3,899	-20,005	27,132	

◆検討のポイント

- ・当初予算に「少し剰余目標」を引き上げる
- ・例外としてITセンターと本部を特定する

①ITセンターは、前年実績に25%の1,000千円の黒字は目指してください。

②本部の-6,000千円の赤字予算は、前年の赤字が-6,005千円でしたから、前年実績に同じです。結果として、7,127千円の黒字となり6,000千円の必要利益を上回る結果になります。

7月の業務月報

◆ITセンター

1. 業務遂行に関すること

・職業訓練

3月生………就職率が悪く、就職支援費取得の対象クラスとしない可能性が大きい。

4月生………50歳台の方が多く、訓練を終了しても再就職が難しく、卒業と同時に就職が決定していかない。子供のいる人も多く、1日の平均労働時間が短いため、就職支援費対象者にならない。

6月生………ほとんどの方が就職活動を行っていない状態である。パソコン初心者が多く、Excelの関数などができず、勉強が中心になっている。就職支援費対象としない可能性が大きい。また最低就職率もクリアできるかどうか不安である。

8月生・9月生の訓練開始にあたり説明会を各月5回実施。参加者のほとんどが高齢で、今後の選考時に不安が残る。

50歳台後半から60歳台の参加が多く、若い方はいない。

・ホームページ作成

現状の仕事を守るばかりで仕事が増えてこない。原因は案件の規模が広範囲または大きくなったため、高いレベルであっても、2人しかいない技術者集団では無理で、請け負えない。

2. 予算遂行状況

・職業訓練

マイクロソフトオイスを2013から2016へバージョンをアップすることにした。パソコンが60台あるのでかなりの費用が必要となる。Win10への切替えは完了しているが、パソコン60台の買換えが、2年後からは順次必要となってくる。

・2016バージョンアップに伴い、パソコン講師がMOS 2016資格を取得する必要が出てきた。講師と職員の計10人分の資格取得のテキストを購入する。

3. その他

・就職率が低下し支援費対象とならず予算修正が必要になっている。

・訓練説明会からを休むことばりの質問があり、大丈夫かなと少し不安を感じている。

7月の業務月報

◆仙台事業所

- 業務の関すること
 - ①訪問介護サービス
利用者1人減（連日昼夜サービス利用していた方が急逝されました）
 - ②居宅介護支援
2人減（死亡1人、施設入所1人）
新規相談2人対応中です。
 - ③障害福祉サービス
「居宅サービス」「重度訪問介護サービス」の更新申請手続きを完了しています。
 - ④登録ヘルパー
1人増員しましたが、交通事故に遭い退職になっています。
- 予算遂行に関すること
前月よりも75万円程度収入減となっており、厳しい状況です。

◆ワークセンター

- 業務遂行に関すること
 - ①ソーシャルホーム事業は、計画通り7月31日で閉鎖した。
 - ②ソーシャルホーム閉鎖による、自立支援センターへの入所の増大は、計画通りにはいっていない。今後、行政への宣伝を強めていくことを確認した。
 - ③野外の業務が中心であり、体調を崩す者が増えています。1カ月休職者は1名です。
 - ④退職者は1名でしたが、新規採用も1名でした。
 - ⑤その他
- 予算遂行に関すること
 - ①4月以降の決算は出来ていませんが、実績では、ソーシャル事業の閉鎖による減収はさげられません。
 - ②新規事業をめざすプロジェクトチームの体制づくりは、議論していますが、チームの結成にはいたっていません。引き続き結成に向けて議論していきます。
 - ③31年度に向けて、京都市の委託事業を引き続きワークに委託していくために、京都市に対して8月中には、要請していくことを決めました。

◆多摩支所

- 業務遂行に関すること
パンフレットを持って、東村山市には渡すのみ。駒木野病院、井の頭病院を訪問。アルコール依存者の状況を聞き、利用者入所の案内をしました。依存者の重症化の傾向があるようです。東村山市からの紹介で8月に2人の入所がありました。
- 予算遂行に関すること
8月の収入も厳しい状況となっています。

◆田川事業所

- 業務遂行に関すること
7月の作業高目標に対してはほぼ100%の遂行状況
- 予算遂行に関すること
年間受注目標に対しては約83%の遂行状況
- その他
猛暑対策に気を使いました。今年は何とかみんな頑張れています。

◆都城事業所

- 業務遂行に関すること
 - (1)、7月は、台風7号および12号が南九州に接近しました。テレビの「台風の進路予想」に、注意を払って業務を行っています。今年、台風の発生が通年よりも多く、9月末頃までは注意が必要なようです。
また、台風一過は、気温も再び上昇し、「熱中症」で体調を崩した利用者も少なくありません。現状では「熱中症」で入院している利用者は1人です。
 2. 予算遂行に関すること
 - (1)、7月は、5人の新規利用者の依頼がありました。しかし、施設入所者(▲)2人、死去(▲)1人等で介護報酬請求分は、計83人でした。
7月の介護報酬請求額(訪問介護収入)は、2,575千円で、前月(6月)の2,497千円と比較して、78千円増加しています。また、昨年7月の2,538千円と比較しても、37千円の増加になっています。
 - (2)、しかし、7月の単月収支は、収入 2,575千円ー経費等 2,995千円＝ ▲419千円となり、赤字になりました。
2017年度の介護職員処遇改善加算の清算を7月初めに行い、計50万円の特別手当(給料手当・非常勤給与)を各人に支給しましたので、通常より、経費が増え、その額程度の赤字になりました。
前期の4月から翌年3月までの1年間の介護職員処遇改善加算の清算は、本来は、5月～6月に清算し、不足分を支給することになっていますが、資金不足だったので、7月に、どうにか調達できて、支給できました。
 - (3)、複数の居宅介護支援事業所から、新規利用者の依頼が、毎月、平均して3～5人あり、身体介護サービスも増加してきています。しかし、「熱中症」等の在宅生活での体調不良や不安から施設入所希望者が増加してきています。

多摩支所

